

「原子力発電所における職業被ばく防護最適化のための作業管理」(グリーンブック)の紹介
原子力安全基盤機構 (JNES) 林田 芳久 氏

1997年に"Work Management in the Nuclear Industry"(ピンクブック)が刊行された。ピンクブックは計画から準備、実施、評価及びフィードバックに至る作業管理の原則を示したものであった。ピンクブックは世界の原子力発電所で線量及びコスト低減のために実際に用いられてきたが、10年の時を経て、放射線防護に関わる新たな技術と経験が蓄積されたので、2006年の運営委員会合でピンクブックの更新が決定された。EGWM(Expert Group on Work Management)が発足し、“グリーンブック”として公表することが2008年の運営委員会合で承認され、2009年に発行された。

グリーンブックの章構成は以下の通りである。

1. 序論
2. 規制の状況
3. ALARA 管理の方針
4. 作業員の関与と能力
5. 作業計画とスケジューリング
6. 作業の準備
7. 作業の実施
8. 作業の評価とフィードバック
9. 継続的改善の確保
10. 結論

本書は作業員被ばくを最適化するためのキーとなる事項の作業管理のガイダンスを提供する。同書はISOEメンバーに配布され、ISOEネットワーク・ウェブサイトからもダウンロード可能である。また、日本語など数ヶ国語に翻訳される予定である。更新版(グリーンブック)は初版(ピンクブック)同様、多くの国々で有効に利用されることが期待される。グリーンブックは将来の原子力カルネッサンスの時代の新しい原子力発電所に対して有効であり、世界の被ばく低減に寄与するであろう。

